

# 103-296

## 問題文

56歳男性。以下の処方箋を持って薬局を訪れた。足裏と足側面にかゆみ、水疱、皮膚の剥離などの症状が出現し、皮膚科外来を受診したとのことであった。

(処方)

ラノコナゾールクリーム1% 10g 6本

1回適量 1日1回 塗布

## 問296

この外用剤を使用する際に伝えるべき注意点として、適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 症状の改善が認められたら、徐々に塗布回数を減らす。
2. アキレス腱周囲ぐらいいまで広めに塗布する。
3. 患部は保湿に心がける。
4. 塗布した状態で日光にあたらない。
5. 塗布部位に発赤などが生じたら、使用を中止する。

## 問297

この患者の病態と処方薬に関する記述のうち、誤っているのはどれか。2つ選べ。

1. この患者は皮膚真菌症に罹患している。
2. 症状と発症部位から足カンジダ症の可能性が高い。
3. 深在性真菌症にも有効である。
4. 患部のびらん症状がひどくなった場合には、内服療法へ切り替える。
5. 病変部位を採取し直接鏡検を行い、治癒を確認する。

---

## 解答

問296 : 2, 5問297 : 2, 3

## 解説

### 問296

選択肢 1 ですが

症状の改善後も再発予防のために、医師から中止指示があるまで使用を継続することが肝要です。徐々に塗布回数を減らすのは適切ではありません。

選択肢 2 は、正しい記述です。

症状がある部分だけではなく周囲まで菌は生息しています。広めの塗布を指示します。

選択肢 3 ですが

保湿の有無は、乾燥の程度等を総合的にふまえて医師が判断します。本問の与えられた情報では判断できず、保湿の推奨が適切とはいえません。

選択肢 4 ですが

日光にあたっても問題ありません。日光にあたらないでと指示するのは適切ではありません。

選択肢 5 は、正しい記述です。

副作用の初期症状と考えられるため中止が適切です。

以上より、問296 の正解は 2,5 です。

**問297**

選択肢 1 は、正しい記述です。

皮膚症状があり、かつ、ラノコナゾールは アゾール系の中でもイミダゾール系 抗真菌薬です。

選択肢 2 ですが

症状及び発生部位から考えると、いわゆる水虫の可能性が高いと 思われます。足カンジダ症を 除外できるわけではないのですが、症状と発症部位 のみから 足カンジダ症の可能性が高い というのは 言い過ぎと考えられます。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

「深在性」という字面からは、つい「皮膚の深部」を連想してしまうかもしれませんが、しかし、深在性真菌症とは、肺、肝臓といった臓器に 真菌が感染していることを示しています。従って、深在性真菌症に対しては 外用薬では効果は見られません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4,5 は、正しい記述です。

以上より、問297 の正解は 2,3 です。